

第3回 生駒市史編さん委員会会議記録（要旨）

- 1 日時 令和4年7月29日（金）10：00～11：30
- 2 場所 生駒市コミュニティセンター201・202会議室
- 3 出欠（敬称略）
（参加者）谷山正道、天野忠幸、高木博志、神田雅章、
山本昇、原井葉子、八重史子（欠席）吉川真司
（事務局）西野図書館長、錦図書館課課長、清水生涯学習課長、池田市史編さん係員、小野市史編さん係員

4 会議の公開・非公開 公開

5 傍聴者 なし

6 議事内容

◎執筆員追加報告 自然地理分野1名、文化遺産分科会文学分野2名。現状総勢33名
自然分野、早期に補充されたいと意見あり。

(1) 令和3年度各分科会活動報告

- ・古代史分科会 6月、10月分科会開催（目次の設定、出土遺物の確認など）
- ・中世史分科会 7月、11月分科会開催（史料調査の方針検討・担当割、高山方面巡検など）、刊本調査実施
- ・近世史分科会 6月分科会開催（担当割決定、調査先の検討など）各方面の調査実施、史料集作成準備
- ・近現代史分科会 6月、3月分科会開催（担当割決定、調査先の検討など）各方面の調査実施、新聞検索、史料集作成準備
- ・文化遺産・自然分科会 8月、3月分科会開催（各分野の方向性・進捗確認、上下巻の構成検討など）、各分野で調査実施

(2) 史料集等の構成の変更について

- ・刊行計画更新案確認
- ・史料集5巻は明治～昭和の新聞資料の量が膨大。次回、記事サンプルを提示し検討。
- ・史料集サイズは原則B5。考古・地理に関しては調整。
- ・市史編さんがR9年度で終了後も史料集刊行。
- ・史料集8巻地図集の素案など調整要。
- ・本日の資料3の段落番号1 生駒市史は、「本編4冊」とし→「本編4巻」に訂正を。

(3) 執筆要領（案）について

- ・執筆要領案確認

(4) 本編の規格について

- ・本編はA5サイズに決定。

(5) 発刊スケジュールについて

- ・本編の事務局入稿締め切りを5月連休明けにスケジュールを修正し、後日委員へメールで送信する。
- ・予算が年度の縛りがあるから発刊スケジュールの期日がタイトになってしまう。年度をまたがったトータルの予算を組む、次年度までの債務負担を継続していく方法もあるので検討を。

(6) イベント事業（案）について

- ・事務局より説明

(7) その他

◎市史編さん終了後の史料活用について

- ・茨木市文化財資料館・郷土資料室で、新修茨木市史編纂で収集した古文書等を公開している。
- ・市史編さんで収集した資料の保存公開について、終わるまでの検討課題とする。

◎市の保管文書について

- ・保存年限後に廃棄傾向にあり、歴史的に必要な文書の保存は急務な状況。
- ・奈良県事例では残すべき行政文書は専門職員が判断。埼玉県では一括して廃棄文書を文書館へ送りそこで判断している。ふるさとミュージアムは今の時点でパンク状態。保存スペース、管理する人員も必要。
- ・100年経ったら歴史になる。自治体内で予算をかけず、文書館を造らなくても機能を作ることは大事。
- ・将来歴史的な史料になるかどうかの判断基準を参考意見として先生方に教授いただく。
- ・某県立文書館には廃棄文書の選別についてのマニュアルがあるが、人によって残す、残さないの基準が違い、一連の文書であっても歯抜けになることもある。

以上